

給湯方式変更による局所設置給湯機器

給湯方式変更により1階事務室、2階給湯室にパロマガス瞬間湯沸器 PH-5 TF を1階洗面室にパロマガス給湯器 PH-16 CWT を設置し、1、2階化粧室と2階洗面室にトヨホク電気湯沸器 TF-12S が変更設置されている。

竣工後、受領した完成図書(給排水・冷暖房換気設備)には、パロマガス瞬間湯沸器 PH-5 TF 仕様表図面と PH-5 TF とは違うパロマガス湯沸器 PH-5 WF 取扱説明書がファイルされている。PH-5 WF 取扱説明書がファイルされた理由は型落ちによるものかは不明。

ガス給湯器の経年劣化(寿命)を一定条件で試験した上で、メーカーより公表されている「統計標準使用期間」は製造年月日を始期として10年となっている。また、長期使用安全点検制度対象品であり、メーカー或いは販売店に届け出て長期使用安全点検制度対象品の登録をしなければならないが、取替えを求められることになる。

PH-16 CWT、PH-5 TF は既にメーカーの取替え対象推奨品に該当している。

給湯室に設置されているガスコンロは厨房機器で(株)博善社負担工事である。ガスコンロの耐用年数は10年とされている。

無断設置、ロードヒーティング用トヨトミ灯油ボイラー、リンナイガス給湯器

設置届出・設置基準を無視して設置された機器であり、点検技術者による定期点検が行われる状況にない。また、長期使用安全点検制度対象品の届出を行える設置状況になく、経年劣化の判断を得ることができない。

無断設置した機器は既にメーカーの取替え対象推奨品に該当している。



[ホーム](#) > [製品に関する大切なお知らせ](#) > [事故・クレーム情報](#)

事故・クレーム情報

下記にて弊社製品の事故・クレーム情報を製品安全自主行動計画に基づき、公表いたします。

2011年4月
株式会社パロマ

ガス瞬間湯沸器 (PH-5TF)における着火音

| | |
|--------------|--|
| 事故発生年月 (西暦) | 2011年4月 |
| 品目 | ガス瞬間湯沸器 |
| 型式機種 | PH-5TF |
| ガス種 | 都市ガス |
| 安全装置の有無 (※1) | 有り |
| 事故・クレーム内容 | 点火の際大きな音がしてガス臭くなったとの申し出があった。当該機器を確認したところ、申し出の現象は再現せず、ガス通路部の漏れもなかった。内胴には後沸きした形跡を認め、スピンドルの戻り不良があったと思われ、約19年前に製造した湯沸器であることから経年劣化によるものと推察した。 |
| 事故原因 | 経年劣化 |
| 対応 | 経年使用によるものと判断。弊社のホームページに事例掲載にて対応。 |

※1 (調理機器…調理油過熱防止装置/温水機器…不完全燃焼防止装置)